



## 2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月10日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン  
 コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 大澤 弘毅

TEL 03-6825-1250

四半期報告書提出予定日 2019年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	1,493	4.9	263	7.7	264	7.3	176	6.7
2018年12月期第1四半期	1,424	4.2	285	21.2	284	21.6	189	26.6

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 177百万円 (5.4%) 2018年12月期第1四半期 187百万円 (27.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	18.25	
2018年12月期第1四半期	19.57	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	4,558	3,684	80.8	381.47
2018年12月期	4,511	3,584	79.5	371.10

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 3,684百万円 2018年12月期 3,584百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		8.00	8.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		0.00		9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	6.5	410	8.6	410	9.3	270	9.0	28.01
通期	5,700	4.6	870	4.4	870	3.8	574	4.5	59.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	10,242,000 株	2018年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	582,239 株	2018年12月期	582,239 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	9,659,761 株	2018年12月期1Q	9,659,763 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善が継続しております。一方で、海外情勢では米中貿易摩擦の長期化や、海外経済の不確実性の高まりにより先行き不透明な状況が依然継続しております。当社事業と関連性が高い国内証券市場においては、米政権の運営不安等により一時日経平均株価が19,000円台まで落ち込む場面もあり不安定な動きで推移しました。また、投資信託市場においては資金の流入超過と流出超過が月次ごとに入れ替わり純資産総額の増加傾向は鈍化しております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ファンドディスクロージャー事業、ドキュメントソリューション事業が順調に業績を伸ばしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,493百万円(前年同期比69百万円増、4.9%増)、営業利益は263百万円(前年同期比21百万円減、7.7%減)となりました。また、経常利益は264百万円(前年同期比20百万円減、7.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は176百万円(前年同期比12百万円減、6.7%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については変更後の区分方法に組み替えた数値で比較しております。詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

#### <投資情報事業>

前第1四半期連結累計期間に証券会社向けレポート作成システム開発の大型案件が計上されておりましたことにより、前年同期比では減収となっております。一方、機関投資家向けデータサービスやネット証券会社に提供している個人投資家向け銘柄分析ツールの機能追加などの開発案件が好調に推移しました。また、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』、株式会社金融データソリューションズの機関投資家向け業務支援アプリケーションなども堅調に推移しております。

その結果、売上高は349百万円(前年同期比12百万円減、3.5%減)、営業利益は159百万円(前年同期比0百万円増、0%増)となりました。

#### <ドキュメントソリューション事業>

証券・生命保険資料の印刷・配送につきましては、前年同期比と同水準で推移いたしました。一方、確定拠出年金関連サービス、連結子会社の株式会社東京ロジプロの物流サービス、株式会社アイコスの翻訳通訳サービスは業績が堅調に推移しております。

その結果、売上高は519百万円(前年同期比49百万円増、10.4%増)、営業利益は76百万円(前年同期比15百万円増、25.3%増)となりました。

#### <ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場においては資金の流入超過と流出超過が月次ごとに入れ替わり純資産総額の増加傾向は鈍化しておりますが、カテゴリ別でバランスファンドの資金流入超過は継続しております。これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は堅調に推移しております。

その結果、売上高は432百万円(前年同期比52百万円増、13.7%増)、営業利益は111百万円(前年同期比12百万円増、12.1%増)となりました。

#### <ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は堅調に推移しておりますが、今後の開発体制に伴う販売費及び一般管理費の増加、前第1四半期連結累計期間においてマイグレーションサービスの大型案件が計上されたことにより前年同期比では減収減益となっております。

その結果、売上高は191百万円(前年同期比17百万円減、8.4%減)、営業利益は1百万円(前年同期比49百万円減、97.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ47百万円増加し、4,558百万円となりました。

流動資産合計は65百万円増加し、3,806百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が124百万円増加した一方で、現金及び預金が75百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は18百万円減少し、752百万円となりました。主な要因は、のれんが償却により14百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、873百万円となりました。

流動負債は53百万円減少し、750百万円となりました。主な要因は、買掛金が68百万円増加した一方で、未払法人税等が111百万円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末とほぼ同額の123百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ100百万円増加し、3,684百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益176百万円の計上による増加と、剰余金の配当77百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月8日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,127,500	3,052,187
受取手形及び売掛金	524,968	649,047
仕掛品	45,918	68,631
その他	42,562	36,987
流動資産合計	3,740,948	3,806,852
固定資産		
有形固定資産	60,435	60,063
無形固定資産		
のれん	343,422	328,819
ソフトウェア	75,972	90,480
ソフトウェア仮勘定	10,950	2,950
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	431,814	423,719
投資その他の資産	278,550	268,260
固定資産合計	770,799	752,043
資産合計	4,511,748	4,558,896
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	223,585	291,687
未払法人税等	194,598	82,779
賞与引当金	39,468	53,764
その他	346,507	322,473
流動負債合計	804,159	750,704
固定負債		
退職給付に係る負債	12,756	13,308
その他	110,074	109,982
固定負債合計	122,830	123,291
負債合計	926,989	873,996
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	2,834,368	2,933,397
自己株式	△77,929	△77,929
株主資本合計	3,577,258	3,676,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△366	△341
為替換算調整勘定	7,866	8,953
その他の包括利益累計額合計	7,500	8,611
純資産合計	3,584,758	3,684,899
負債純資産合計	4,511,748	4,558,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,424,093	1,493,979
売上原価	813,729	893,825
売上総利益	610,363	600,153
販売費及び一般管理費	325,252	337,015
営業利益	285,111	263,138
営業外収益		
受取利息	662	396
受取配当金	174	162
持分法による投資利益	502	444
助成金収入	1,500	—
その他	219	285
営業外収益合計	3,059	1,288
営業外費用		
為替差損	3,196	128
その他	7	5
営業外費用合計	3,204	133
経常利益	284,966	264,293
税金等調整前四半期純利益	284,966	264,293
法人税、住民税及び事業税	103,424	77,899
法人税等調整額	△7,498	10,086
法人税等合計	95,925	87,985
四半期純利益	189,041	176,307
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,041	176,307

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	189,041	176,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,269	1,086
その他の包括利益合計	△1,401	1,111
四半期包括利益	187,640	177,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,640	177,418



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	362,062	470,821	380,572	209,239	1,397	1,424,093	—	1,424,093
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,582	—	9,959	—	13,541	△13,541	—
計	362,062	474,403	380,572	219,198	1,397	1,437,634	△13,541	1,424,093
セグメント利益又は 損失(△)	159,086	60,811	99,784	50,520	△1,742	368,458	△83,347	285,111

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△83,347千円には、セグメント間取引消去△129千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△83,218千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	349,543	519,903	432,851	191,681	—	1,493,979	—	1,493,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,033	—	14,609	—	17,642	△17,642	—
計	349,543	522,937	432,851	206,290	—	1,511,622	△17,642	1,493,979
セグメント利益又は 損失(△)	159,061	76,215	111,858	1,491	—	348,625	△85,486	263,138

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△85,486千円には、セグメント間取引消去△2,965千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△82,520千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

より事業の実態に即した採算管理を行うため、当第1四半期連結会計期間より、「ドキュメントソリューション事業」に含めていた事業法人向けIFIS IR Manager、IFIS Research Manager、IFIS Consensus Managerを「投資情報事業」に、「ファンドディスクロージャー事業」に含めていた確定拠出年金関連サービスと「ITソリューション事業」に含めていたタブレットソリューションを「ドキュメントソリューション事業」に移管しました。これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第1四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。